

[BOSAI TIDBITS]

BOSAI+ Tidbits



左写真は公園内の貯水池。右:今夏、8月10日夜9時ごろの大雨の様子。一定量雨水が貯まると貯水池として機能し、排水する仕組み(画像クリックで拡大表示/以下同様)



6月には梅雨を前にアソビバ防災デーと題して楽しむ防災を訴求。毎月のようにasobibaマルシェ・マーケットを開催



ミニプールやスプリンクラーで水あそびも



まち歩きが、防災知識に変わる。豪華ホテルペア宿泊券やペアランチ券が当たるチャンスも!

● 佐賀県武雄市に新時代の公園「HONDA TAKEO PARK」誕生 ——ハイブリッドパーク「asobiba(アソビバ)」

● 防災、カフェ、芸術文化、モビリティなど、多彩な要素が融合した公園

株式会社ホンダカーズ中央佐賀(佐賀市)が本年4月、佐賀県武雄市武雄町の国道34号六田交差点そばに、大雨時に雨水をためる遊水地機能を持つ公園を備えた店舗「HONDA TAKEO PARK／asobiba(アソビバ)」をオープンした。敷地面積は約1万3千平方mで、九州のホンダディーラーでは最大級の広さ。この店舗にはショールームや事務所のほか整備工場は12ピットが並ぶ。同社は「HONDA TAKEO PARK／asobiba(アソビバ)」を、防災・観光・文化資本・地域を横断して多角的な貢献をめざすとして、“新時代のハイブリッド公園”へと進化させている。

1999年8月、2021年8月の豪雨で武雄市は甚大な被害を受けたが、ホンダカーズ中央佐賀は、近年ますます激甚化する気象災害・浸水被害に負けない「治水対策」と、「人ひとの憩いの場」、さらには「観光文化資本の場」の合体の魅力の活用で相乗効果を生み出そうという。 「HONDA TAKEO PARK／asobiba(アソビバ)」は、地方創生・新たな観光・地域貢献の挑戦として、防災、カフェ、芸術文化、モビリティなど、多彩な要素が融合する、いわばハイブリッドパークだ。

今夏は、治水対策の貯水池を利用して7月、8月、酷暑の続くなか、『asobibaみずあそび』と冠した水遊びイベントを開催、暑さ対策をしながら多くの子どもたちが参加し、家族連れやホンダカーズやカフェを訪れる多くの人にぎわった。

また、市の防災減災課を招いて、災害時は避難所となる施設・建物の紹介や、ボランティア団体を招いての防災グッズや車中泊避難時の注意点などの情報共有、そして関係会社による大雨時の止水板や車両浸水防水シートの使い方の勉強会など防災施策の充実を図るほか、おむすび、米粉のシフォンケーキ、綿菓子、里の駅北方野菜、自然食品などの販売、さらには耳つぼジュエリー、ヘッドリフレ、ドローンシューティング体験など、市民の交流の場ともなっている。

[>>ホンダカーズ中央佐賀:新時代の公園 HONDA TAKEO PARK「asobiba\(アソビバ\)」](#)

● 『ヒガシギンザ防災スタンプラリー』 ~まち歩きで防災知識を~ ——10月17日から12月15日まで開催 抽選と先着でプレゼント

● 東銀座での『もしも』、考えていますか?

東銀座まちづくり推進協議会(主催)と一般社団法人東銀座エリアマネジメント(共催)が、地域の防災連携を強化するため、2025年10月17日から12月15日(月)までの期間、『ヒガシギンザ防災スタンプラリー』を開催する。昨年に続き2年目となるスタンプラリーは、全8箇所のデジタルスタンプを集めた人に、先着／抽選で東銀座らしいプレゼントを提供するもので、“パワーアップした『ヒガシギンザ防災スタンプラリー』にぜひ参加を!”とアピールしている。

同スタンプラリーの趣旨は、「もし、あなたがいま、東銀座で被災したら、どこへ避難するか考えたことはありますか? まち歩きを楽しみながら防災を学べるデジタルスタンプラリー」だ。スマートフォンを片手に、自分のペースで東銀座のまちを巡ることで、いざという時に命を守るために防災設備や施設、東銀座の安心・安全を発見できるというもの。

抽選プレゼントは、「ホテル宿泊券」「ホテル食事券」「ホテルペアランチ」のほか、先着(スタンプ8個・100名)プレゼントとして「喫茶店ドリンクチケット」など。

[>>東銀座エリアマネジメント:『ヒガシギンザ防災スタンプラリー』](#)